

私は生来の怠け者だ。だから、苦勞せずに素晴らしいアイデアを出せる近道はないか、いつも考えている。その結果、以下に述べる頭の基本動作を習慣づけることが肝要だと気付いた。

アイデア生むループ 観察・納得・創造を繰り返す

頭の回転での要素は、天体現象では恒星、惑星、衛星などだ。物理あるいは化学の諸現象では分子、原子、素粒子などだ。生命現象では生物集団、個体、器官、組織、細胞などと様々に変わるが、ループをたどるとき頭の動きは共通して、一般性がある。

平成 26 年 9 月 26 日

フィードバックとは、結果を原因に戻すことである。たとえば日常茶飯事の、反省とか修正だ。もともとはエレキトロンクスで、電気出力の一部を入力に帰還させることで使われ始めたものだ。しかし、科学技術の有用な概念は万端で、社会問題や個人の処世術としても大いに参考になる概念である。

フィードバック 冷静な批判が秩序保つ

言ってみればスピーカーがピーと金切り声を上げているようなものである、といったら吐られるだろうか。社会の高い秩序が保つためには、冷静に判断された負のフィードバックが必要だ。高所得者と低所得者の格差を広げないためには、前者の収入を後者に戻す、累進課税という負担をかける。

平成 26 年 10 月 21 日

優れたアイデアを出すには普段の頭脳訓練が不可欠だ。スポーツ選手に毎日の練習が欠かせないのと同じだ。ただし、人の話を聞いたり本を読んで知識をためたりしても、それはスポーツ選手が栄誉をとるようなもので訓練にはならない。スポーツの技に相当する頭脳の「智慧」を磨くべきだ。その訓練には、前にも述べた自問自答、つまり自分で問題を作っては解き作っては解くことを繰り返すことよ。

頭脳の訓練 数量センスで議論リード

これらの数字から、次のように議論を発展させる。①シカゴの世帯数は100万世帯②シカゴでのピアノの総数は10万台程度③ピアノの調律師は年間に10万4千それに対し1人のピアノの調律師は年間750台を調律する。以上をまとめると、調律師の人数は130人程度と推定される。このフェルミ推論の応用範囲はまことに広い。

平成 26 年 11 月 20 日